
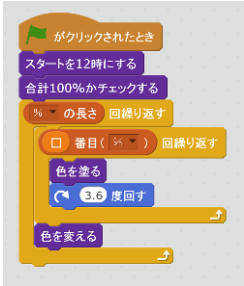


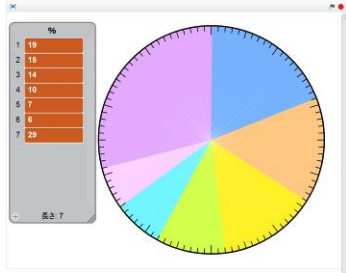


<p>教科 単元名</p>	<p>算数 第5学年 百分率とグラフ「比べ方を考えよう(2)」</p>
<p>教科の目標</p>	<p>○円グラフを作成するプログラミングを通して、円グラフの特徴や傾向に関心を深める。</p>
<p>プログラミングソフト</p>	<p>Scratch2.0</p>
<p>プログラミングソフトを活用した利点</p>	<p>プログラミング教育を中心としながらも、付随的に各教科にも学習効果があり相乗効果を望めると思います。プログラミング教育を中心にして行うことで、教科等を横断的に結びつける価値に迫れることができると考えました。</p>
<p>成果 (児童の様子、変化など)</p>	<p>自分がつくったプログラムでコンピュータがきれいな円グラフを描き上げる様子を見て、とても喜んでいました。「自分の手でも円グラフを描いて比べてみたい。」との声もあがり、次の学習への動機付けになりました。自分の手で描くときには、項目の順番や色、数値を入れるなどの工夫を考えていました。「プログラミング」と「手描き」を比較して、それぞれの良さに関する気づきも多く、算数科としてもプログラミング教育としても一定の成果があったと思います。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>課題</p>	<p>今回作成したプログラムには、「くり返し」の中に「くり返し」が含まれている部分がありました。このプログラム作成で一番難しいポイントだったので、その部分について全体で確認する時間を取りました。結果的にはちょうど良い難易度に落ち着きましたが、難易度を調整する手立てを教師が考えておく必要があると感じました。</p> <p>また、今回はプログラミング教育として時間を確保しましたが、教科の枠で考えると、プラス1時間ということになります。時間の確保についても、年間を見通して、各教科等とのバランスを考えた計画が必要だと感じました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>